

令和2年度 事業報告

1 事業の概要

令和2年度の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響によって落込みがあったものの、基本方針と事業実施計画に沿って関係各位のご支援とご協力のもと、シルバー事業の適正な運営に努めてまいりました。

請負の事業実績は、金額、延人員ともに、コロナの影響で前年を1割程度下回りましたが、派遣については上回りました。しかしながら、請負と派遣の合計では金額、延人員ともに、前年を下回ってしまいました。

さらに会員数の拡大については、イベントの自粛に伴い、4年連続で増加していた会員数も減少し、新たな業務の問合せがあっても受注できないことがあるなど、依然として厳しい状況が続いています。

当シルバー事業に深いご理解とともに、ご支援ご協力をいただきました苫小牧市をはじめ、賛助会員、関係機関、事業所、一般家庭の皆様から感謝を申し上げます。

○ 事業実績

区 分	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年比
1 登録会員数	684 人	697 人	△ 13 人	98.1 %
2 受注額・就業延人員				
(1) 請 負				
① 受注金額	218,451 千円	239,526 千円	△ 21,075 千円	91.2 %
② 就業延人員	48,329 人日	53,604 人日	△ 5,275 人日	90.2 %
(2) 派 遣 (参考)				
① 受注金額	50,586 千円	46,804 千円	3,782 千円	108.1 %
② 就業延人員	7,748 人日	7,695 人日	53 人日	100.7 %
(3) 請負・派遣合計(参考)				
① 受注金額	269,037 千円	286,330 千円	△ 17,293 千円	94.0 %
② 就業延人員	56,077 人日	61,299 人日	△ 5,222 人日	91.5 %
3 就 業 率				
(1) 請 負	79.2 %	81.5 %	△ 2.3	—
(2) 請負・派遣合計(参考)	86.0 %	86.9 %	△ 0.9	—

※ 派遣事業は公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会の事業です。

2 事業の実施内容

(1) 会員数の拡大

- ① 苫小牧市の「広報とまこまい」などを活用した広報活動や、会員募集ポスターの公共施設への掲示、市内各戸へのチラシ配布など、市民に積極的に情報を提供し、新規会員獲得のPRに努めました。
- ② シルバー事業のPRや会員拡大につながるよう、シルバーの活動や入会手続きなどについて適宜必要な情報をホームページ上で提供してまいりました。
- ③ 確定申告期間中の労働福祉センターにおいて、役員・会員によるパンフレットの配布を行い、約 4,540枚配布しました。また職業安定所や年金事務所にもパンフレットを置き、入会促進と受注拡大に努めました。

- ④ 女性限定のセミナーを伴う入会説明会や農業関連分野など一般市民向けの講習会については、コロナの感染防止に留意しながら次のとおり開催し、会員の入会を図りました。

講習会名	期日	参加人数	講師	実施場所
アイヌ刺繍（初級）講座 及び 女性限定入会説明会	7月15日（水）	会員 1人 一般市民 3人	阿部 由美子 氏	生活館
刈払機取扱安全衛生 教育講習会	3月24日（水）	会員 5人 一般市民 4人	コベルコ教習所（株） 北海道教習センター 主任講師 大和田 誠 氏	労働福祉センター

- ⑤ 入会説明会については場所を市内の西部地区や東部地区の住宅地での開催や、平日以外での開催をするなど、多くの人に参加しやすいように努めました。
- ⑥ 就業会員確保、あるいは未就業会員削減のため、一般市民や未就業会員などを対象とした草取りなどの体験・実習型の研修を行いました。
- ⑦ 平成30年度に導入したポイント制度については一定の成果を上げていますが、さらにこれを推進し、会員数の拡大とともに受注の確保、組織体制の強化を図りました。
- ⑧ 入会后1年未満の会員の退会を防止するため、講習会受講やサークル入会を奨励し、就業相談を実施するなど、会員数を確保するよう努めました。
- ⑨ 企業の退職者（予定者）層への入会の働きかけについては、下記セミナーの案内チラシを商工会議所だよりに2,300部折込み、また確定申告期間中の来館者に対し配布を行い、セミナーを開催しました。

講習会名	期日	参加人数	講師	実施場所
退職予定者層の シニアライフセミナー	2月27日（土）	18人	社会保険労務士 田原 咲世 氏	高齢者福祉センター

- ⑩ 高齢会員の体力に合わせ就業時間が短く、グループで出来る就業先として指定管理施設での除草等を実施し、退会抑制に努めました。

(2) 適正就業の推進と就業機会の確保

ア 適正就業の推進

- ① 就業形態については、法令遵守に努めるとともに、ガイドラインを活用し適正就業に努めました。
- ② 就業機会の均等化を図るため、長期就業などを改善するとともに、未就業会員に対しては、簡易な業務の情報を提供するなどして就業率の向上を目指しました。
- ③ 事務所内に就業情報を掲示し、会員の希望する就業の促進に努めました。

イ 請負受注の確保と独自事業の推進

- ① 苫小牧市に対してはシルバー事業の理念、概要を説明し、高齢者に適した就業機会の拡大とともに、事業全般に対する支援を引き続き要請しました。
- ② 就業開拓員を配置し、受注の拡大を図りました。
- ③ 腐葉土、花づくりの独自事業に対して積極的に事業展開するとともに、錦岡地区の用地（樽前平成ファーム）を有意義に活用して事業の充実を図りました。また、新たな独自事業について研究を行いました。
- ④ 特に女性会員の就業の拡大を図るため、介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）等、市と協議してまいりました。

ウ 派遣事業等の充実

- ① シルバー派遣事業については、道シ連と連携するとともに、就業機会の拡大につながるよう、取引先との連絡を密にし、業務拡大に努めました。
- ② 職業紹介については推進してまいりました。

エ 指定管理事業の充実

- ① 指定管理者となっている高齢者福祉センター、労働福祉センター、錦大沼公園、拓勇・日の出公園については、苫小牧市との協定を遵守して適正な管理運営を行うとともに、利用者サービス向上に努めました。
- ② 錦大沼ちびっこワカサギ釣りチャレンジ、高齢者福祉センター高齢者セミナー、日の出公園の防災イベントについては、コロナ感染防止に留意しながら開催しました。その他はほとんどが中止となってしまいましたが、可能な範囲で創意工夫をこらした自主事業を実施し、利用者の増加と満足度の向上に努めました。

(3) 安全就業の徹底

- ① 安全・適正就業委員会が主体となって、全国安全就業強化月間に合わせて開催を予定していた「健康フェスティバル」は、コロナの影響により中止としましたが、会員の相談日に健康測定という形で開催し、11月は16人、12月は13人の方に参加をいただきました。
- ② 安全・適正就業委員会を4回開催するとともに、就業現場の安全パトロールを実施し、「安全ニュース」の発行や「安全標語」の募集を行い、会員の安全意識の高揚を図るとともに、安全作業の定着に努めました。
- ③ 万が一事故が発生した場合は、原因を究明し、就業会員を対象に事例を基にした危険予知訓練を行うなど、安全意識を高め事故防止に努めました。
- ④ 会員が良好な体調を維持することが事故防止にもつながることから、定期的に健康診断を受けることを奨励しました。しかしながら「健康教室」につきましては、コロナの影響によって中止としました。
- ⑤ 高齢者の自動車運転による交通事故が社会的関心を集めていることから、自動車運転業務に従事する会員を対象として「自動車安全運転講習会」を次のとおり実施しました。

教室名	期日	講師	実施場所	参加人数
自動車安全運転講習会	1月28日(木)	(株)苫小牧中野自動車学校 麓 公貴氏 他	(株)苫小牧中野 自動車学校	8人

- ⑥ 剪定、機械除草業務における安全就業実施度自己チェックを実施しました。
- ⑦ 会員の健康管理については、市民検診、個人検診を奨励し会員各自の健康維持徹底に努めました。
- ⑧ 事故を起こした会員に対するペナルティ制度の導入について調査、研究しました。
- ⑨ 連合会で実施する派遣事業に従事する会員の安全・衛生を確保するため、衛生委員会を4回開催しました。

(4) 組織体制の強化

- ① 事業の執行機関である理事会をはじめ、部会（総務部会、事業部会）や委員会（安全・適正就業委員会、広報委員会）を開催し、事業の適正な執行と活性化に努めました。
- ② 地区長会議を2回開催し、事業に関する情報提供や意見交換、運営に対する要望や提案を話し合い、会員の自主的活動と交流を促進し参画意識や主体性の高揚に努めました。地区会議については、コロナの影響により中止しました。
- ③ 「女性会」における講習会の開催、普及啓蒙活動やボランティア活動については、コロナの影響により中止しました。
- ④ 事務局が入居している労働福祉センターは、市の公共施設の統廃合対象となっていることから、活動拠点としての事務局の確保について、引き続き苫小牧市と協議を行いました。
- ⑤ シルバー事業の活性化を図るための役職員研修はコロナの影響により中止しました。
- ⑥ コンピュータシステムを年度末に更新したので、地域班の見直し準備を行いました。
- ⑦ 「人生100年時代」を見据え、意欲ある高齢者が年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現をめざし、新たなシルバー人材センター像を創造するための次期中長期計画の策定の準備を行いました。

- ⑧ 苫小牧市、公共職業安定所、道シ連、道内の各センターなど関係機関や諸団体と十分に連携し、事業の円滑な推進に努めました。

(5) 財政基盤の強化

- ① 国の補助制度の動向を注視し、補助金の確保に努めました。
 ② 長期的な視点に立って、事業に必要な事務機器などの資産や備品の更新・充実など必要な整備を進めるとともに、効率化を図り経費の削減に努めました。
 ③ 会員の就業に見合った適正な収入と安定した事務費収入の確保を図るための配分金の改定については、最低賃金が改定されなかったため、据え置きとしました。

(6) 会員の研修と会員相互の交流の推進

- ① 会員の知識、技能、技術の向上を図り、就業職種と就業分野の拡大のため、センター主催の講習会を次のとおり実施しました。

区分	講習会名	期日	参加人数	講師	実施場所
事務系	毛筆講習会	11月13日(金)	5人	当シルバー会員 川上 悠子 氏	労働福祉センター
	硬筆講習会	11月13日(金)	7人	硬筆講師 五十嵐 恵子 氏	労働福祉センター
技能系	除草就業体験講習	6月23日(火)	11人	除草作業従事会員	日の出公園
		6月24日(水)	3人		拓勇公園
		7月2日(木)	2人		錦大沼公園
		7月3日(金)	6人		

- ② 入会后3年を経過した会員を対象に、シルバー事業に対する認識を深めていただくため、理念や仕組みを詳細に説明する「3年度経過後講習会」は、コロナの影響により形態を書面形式に変え、対象会員64人に資料を配布しました。
 ③ 事業の円滑な運営に資するため、会員の現状と意向を把握する「会員継続調査」を実施しました。
 ④ 「休憩室の開放」は理事が中心となり取り組むとともに、就業上の意見や相談を受けるための「会員の相談日」についても利用を促進するよう努め、延べ109人の会員が利用し、多数の会員から意見・相談を受ける等、会員相互の意思疎通の向上に努めました。しかしながら、4月と5月はコロナの影響により中止となり、例年1月の相談日に併せて行っていた「安全祈願餅つき大会」も中止としました。
 ⑤ 会報「とまこまいシルバーだより」第69号・第70号を発行し、事業の周知や情報伝達に努めました。
 ⑥ 会員が自主的に運営する会員の親睦交流行事（旅行・新年会）は、コロナの影響により中止しましたが、趣味・教養等のサークル活動は感染防止に留意しながら支援しました。

(7) 広報、ボランティアの推進

- ① 市の広報紙や地方紙等に広告を掲載するとともに、事業実施の際は報道記事を活用して事業の宣伝・周知に努めました。
 ② 会員の技能発表の場として、また地域との結びつきを強め、シルバー事業の普及啓発を目的とした「シルバーまつり」については、コロナの影響により中止といたしました。
 ③ センターを支えてくれる地域への感謝を込めて実施しているボランティア活動については、錦大沼公園の花しょうぶフェスタや港まつりは中止となりましたが、10月5日に高丘第1霊園付近の国道276号線の歩道清掃を27人の参加により実施しました。

3 事業実績状況

(1) 会員登録状況

① 異動会員数

(単位:人)

区分	令和2年3月末 会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	令和3年3月末 会員数
男性	459	63	66	456
女性	238	26	36	228
合計	697	89	102	684
前年度	683	106	92	697
対前年増減	14	△ 17	10	△ 13

② 年齢別会員数

(単位:人)

区分	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男性	0	24	94	171	125	42	73.4歳
女性	0	20	67	90	42	9	71.5歳
合計	0	44	161	261	167	51	72.8歳
前年度	1	54	176	252	164	50	72.3歳
対前年増減	△ 1	△ 10	△ 15	9	3	1	0.5歳

③ 職群別会員数

(単位:人)

区分	技術群	技能群	事務 整理群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービス 群	その他	合計
男性	34	28	69	143	28	153	1	0	456
女性	4	3	29	4	25	96	67	0	228
合計	38	31	98	147	53	249	68	0	684
前年度	40	33	97	152	49	254	72	0	697
対前年増減	△ 2	△ 2	1	△ 5	4	△ 5	△ 4	0	△ 13

(2) 請負事業実績

① 就業実人員、就業率

(単位:人)

区分	会員数	就業者数	未就業者数	就業率
男性	456	348	108	76.3%
女性	228	194	34	85.1%
合計	684	542	142	79.2%
前年度	697	568	129	81.5%
対前年増減	△ 13	△ 26	13	△ 2.3

② 事業別実績内訳

区 分	受注件数 (件)	延人員 (人日)	受 注 金 額 (円)						前年合計	前年比
			配分金	材料費等	事務費	合 計	構成比			
公共事業	260	13,814	60,529,680	1,828,771	7,910,931	70,269,382	32.2%	71,013,762	99.0%	
民間事業	1,640	27,027	108,025,565	487,069	8,548,811	117,061,445	53.6%	134,714,981	86.9%	
一般家庭	2,928	6,969	25,937,176	992,282	2,917,755	29,847,213	13.7%	32,795,780	91.0%	
独自事業	12	519	904,250	340,662	27,883	1,272,795	0.6%	1,002,045	127.0%	
合 計	4,840	48,329	195,396,671	3,648,784	19,405,380	218,450,835	100.0%	239,526,568	91.2%	
前 年 度	5,330	53,604	214,565,382	4,593,882	20,367,304	239,526,568				
対前年増減	△ 490	△ 5,275	△ 19,168,711	△ 945,098	△ 961,924	△ 21,075,733				

③ 職群別就業実績内訳

区 分	受注件数 (件)	延人員 (人日)	受 注 金 額 (円)						前年合計	前年比
			配分金	材料費等	事務費	合 計				
技 術 群	42	464	1,209,995	0	59,727	1,269,722	678,595	187.1%		
技 能 群	868	2,047	12,159,154	1,492,982	1,485,642	15,137,778	15,734,921	96.2%		
事 務 整 理 群	277	3,154	9,704,033	22,197	857,859	10,584,089	11,284,941	93.8%		
管 理 群	346	13,290	75,016,782	188,321	6,115,351	81,320,454	85,928,644	94.6%		
折 衝 外 交 群	42	6,394	15,119,409	158,594	2,182,330	17,460,333	14,631,553	119.3%		
一 般 作 業 群	2,906	21,179	76,595,055	1,783,790	8,310,404	86,689,249	105,111,466	82.5%		
サ ー ビ ス 群	359	1,801	5,592,243	2,900	394,067	5,989,210	6,156,448	97.3%		
合 計	4,840	48,329	195,396,671	3,648,784	19,405,380	218,450,835	239,526,568	91.2%		

④ 月別事業実績

区 分	会員数 (人)	就 業		就業率 (%)	受注件数 (件)	受 注 金 額 (円)			
		実人員 (人)	延人員 (人日)			配分金	材料費等	事務費	合 計
4 月	609	386	3,502	63.4	281	13,212,007	212,767	1,201,572	14,626,346
5 月	611	398	3,478	65.1	319	13,937,461	157,496	1,315,833	15,410,790
6 月	623	427	4,565	68.5	559	19,957,497	363,139	2,125,641	22,446,277
7 月	626	427	5,258	68.2	721	21,926,580	691,619	2,884,625	25,502,824
8 月	630	432	4,693	68.6	554	20,298,585	454,747	2,517,401	23,270,733
9 月	636	428	4,444	67.3	502	19,452,519	351,176	1,913,983	21,717,678
10 月	643	438	4,497	68.1	417	19,345,317	220,643	1,604,974	21,170,934
11 月	650	396	3,781	60.9	345	14,710,747	167,884	1,292,036	16,170,667
12 月	650	374	3,368	57.5	264	12,882,673	212,252	1,045,252	14,140,177
1 月	657	389	3,407	59.2	284	12,235,721	178,820	1,050,961	13,465,502
2 月	659	383	3,169	58.1	248	11,990,848	236,955	1,030,608	13,258,411
3 月	684	409	4,167	59.8	346	15,446,716	401,286	1,422,494	17,270,496
合 計	684	542	48,329	注 79.2	4,840	195,396,671	3,648,784	19,405,380	218,450,835
前年合計	697	568	53,604	注 81.5	5,330	214,565,382	4,593,882	20,367,304	239,526,568
前年比	98.1%	95.4%	90.2%		90.8%	91.1%	79.4%	95.3%	91.2%

※注 就業率の合計欄は、毎月分の合計額ではなく、1年間を通しての就業率です。

(3) 派遣事業実績(北海道シルバー人材センター連合会事業)

区分	受注件数(件)	実人員(人)	延人員(人日)	受注金額(円)
令和2年度	303	77	7,748	50,586,390
令和元年度	268	74	7,695	46,803,840
対前年増減	35	3	53	3,782,550
前年比	113.1%	104.1%	100.7%	108.1%
職種	草刈り、夜間管理、店舗整理等			

(4) 請負・派遣合計事業実績(参考)

区分		令和2年度	令和元年度	比較増減	前年比
請負	受注金額	218,450,835円	239,526,568円	△ 21,075,733円	91.2%
	就業延人員	48,329人日	53,604人日	△ 5,275人日	90.2%
	就業率	79.2%	81.5%	△ 2.3	
派遣	受注金額	50,586,390円	46,803,840円	3,782,550円	108.1%
	就業延人員	7,748人日	7,695人日	53人日	100.7%
請負・派遣合計	受注金額	269,037,225円	286,330,408円	△ 17,293,183円	94.0%
	就業延人員	56,077人日	61,299人日	△ 5,222人日	91.5%
	就業率	86.0%	86.9%	△ 0.9	

(5) 指定管理受託施設利用状況

(単位:人)

施設名	令和2年度利用者数	令和元年度利用者数	増減	前年比
労働福祉センター	15,575	21,523	△ 5,948	72.4%
錦大沼公園	70,774	65,107	5,667	108.7%
拓勇・日の出公園	83,375	82,393	982	101.2%
高齢者福祉センター	14,190	46,479	△ 32,289	30.5%

4 事故発生状況

(1) 傷害事故発生状況

件数	発生日時	性別	年齢	事故の状況及び結果
1	令和2年 12月4日 (12時15分頃)	女	70歳	脚立に登って清掃中、バランスを崩し転倒した際に、右肋骨を打ったもの 右第4・5肋骨骨折

(2) 賠償事故発生状況

件数	発生日時	性別	年齢	事故の状況及び結果
1	令和2年 7月21日 (11時30分頃)	男	87歳	刈払機(ノコ刃)で作業中、石が飛び車両のフロントガラスを破損させたもの(飛散防止ネット使用)

5 活動状況

期	日	活 動	状 況
R2.	4. 1	地区長・班長委嘱状交付式	於 労働福祉センター
	9	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 11人
	21	令和元年度 会計監査	於 〃
	〃	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 1人
	23	第1回 理事会	於 〃 出席者 14人
5.	12	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 2人
	28	令和2年度 定時総会	於 ホテルウイング インターナショナル 苫小牧 出席者 36人
	〃	第2回 理事会	於 〃 出席者 16人
	29	臨時新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 10人
6.	1	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 13人
	3	第1回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
	4	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 6人
	5	〃	於 〃 参加者 3人
	13	〃	於 〃 参加者 6人
	16	第1回 新入会員説明会	於 〃 参加者 3人
	〃	第2回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
	18	道シ連 定時総会	於 札幌市 理事長 熊木相談役
	19	第1回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於 労働福祉センター 出席者 6人
	23	除草就業体験講習	於 日の出公園 参加者 11人
	24	〃	於 拓勇公園 参加者 3人
	26	臨時新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 4人
	29	第3回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
	30	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 2人
7.	1	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 6人
	2	除草就業体験講習	於 錦大沼公園 参加者 8人
	3		
	7	第2回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於 労働福祉センター 出席者 6人
	15	アイヌ刺繍講座及び入会説明会	於 苫小牧市生活館 参加者 4人
	21	第3回 理事会	於 労働福祉センター 出席者 17人
	〃	第2回 新入会員説明会	於 〃 参加者 5人
		苫小牧市長、苫小牧市議会議長に	理事長
	30	シルバー人材センターへの 支援について要望	於 苫小牧市役所 副理事長2人 事務局長
8.	3	「休憩室の開放」	於 労働福祉センター 利用者 9人
	18	第3回 新入会員説明会	於 〃 参加者 3人
	〃	道シ連 シニア応援セミナー	於 〃 参加者 6人
	19	体験就業（除草）	於 錦大沼公園 参加者 4人
	20	〃	於 日の出公園 参加者 2人
	21	〃	於 拓勇公園 参加者 2人
	24	道シ連 お仕事体験	於 錦大沼公園 参加者 1人
	25	〃	於 高齢者福祉センター 参加者 2人

期	日	活 動 状 況	
R2.	8. 26	道シ連 お仕事体験	於 高齢者福祉センター 参加者 4人
	28	道シ連 刈払機取扱安全講習	於 労働福祉センター 参加者 5人
	9. 1	「休憩室の開放」	於 労働福祉センター 利用者 8人
	2	日の出公園防災自主事業 「園児のところに火の用心」	於 日の出公園 参加者 70人
	3	臨時新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 3人
	15	第4回 新入会員説明会	於 〃 参加者 8人
	10. 1	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 12人
	5	清掃ボランティア	於 高丘第一霊園付近 参加者 27人
	8	道シ連 第2回理事会	於 札幌市 理事長
	19	第1回 地区長会議	於 労働福祉センター 出席者 12人
	20	第5回 新入会員説明会	於 〃 参加者 10人
	21	体験就業（落葉拾い）	於 錦大沼公園 参加者 2人
	22	道シ連 会計担当者研修	於 札幌市 平手主事
	26	第4回 理事会	於 労働福祉センター 出席者 16人
	28	体験就業（落葉拾い）	於 日の出公園 参加者 2人
	29	〃	於 拓勇公園 参加者 1人
	〃	第3回 安全・適正就業委員会 及び就業先パトロール	於 労働福祉センター 出席者 5人
	11. 2	「休憩室の開放」（健康測定）	於 〃 利用者 20人
	13	毛筆講習会	於 〃 参加者 5人
	〃	硬筆講習会	於 〃 参加者 7人
	17	第6回 新入会員説明会	於 〃 参加者 11人
	19	第4回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
	12. 1	「休憩室の開放」（健康測定）	於 〃 利用者 15人
	9	第5回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
	15	第7回 新入会員説明会	於 〃 参加者 6人
	21	第6回 広報委員会	於 〃 出席者 6人
R3.	1. 4	「休憩室の開放」	於 〃 利用者 14人
	19	第8回 新入会員説明会	於 〃 参加者 5人
	21	第5回 理事会	於 〃 出席者 16人
	25	〃	豊川コミセン のぞみコミセン 住吉コミセン 沼ノ端コミセン
	28	自動車安全運転講習	於 中野自動車学校 参加者 8人
	2. 1	「休憩室の開放」	於 労働福祉センター 利用者 12人
	3	役員・会員による会員募集パンフレット配布 (2/3～3/15 確定申告会場にて)	於 〃 4,542人配布
	27	シニアライフセミナー及び入会説明会	於 高齢者福祉センター 参加者 18人
	3. 17	第9回 新入会員説明会	於 労働福祉センター 参加者 26人
	24	刈払機安全衛生教育講習	於 〃 参加者 9人
	25	第2回 地区長会議	於 〃 出席者 12人
	26	第4回 安全・適正就業委員会	於 〃 出席者 5人
	29	第6回 理事会	於 〃 出席者 16人
	30	臨時新入会員説明会	於 〃 参加者 15人